



めぶき園新聞

2015. 1月号

めぶき園開設から四半世紀

理事長 **五十嵐康郎**

平成3年にめぶき園を開設してから、早いもので、四半世紀が過ぎようとしています。開設当初多難な時期に物心両面で支えて下さった初代高田理事長、林理事はじめ保護者の中にも、既に亡くなられた方もいらっしゃいます。開設当時保護者の方は40代の現役世代が中心でしたが、多くの方が70歳の大台を超えられました。私も大病も患いながらも生きながらえて、69歳を迎えました。

その間、措置費制度から支援費制度、さらには自立支援法から総合支援法へとめまぐるしい制度改革がありました。めぶき園は、平成3年に、施設長、事務長、自閉症療育未経験の指導員7名、厨房職員4名の合計13名でスタートしました。平成27年度現在、施設長、事務長、事務職員3名、支援員33名、(常勤19名、非常勤14名)厨房職員5名の合計43名の大所帯になりました。事業の総合化と職員体制の充実に取り組み、事業所も8か所に増え、職員総数が100名を超えました。25年間の自閉症療育の取り組みから、深い愛情を持って、見放さないことを基本として、行動上の問題などを利用者の課題として捉える従来の立ち位置から、利用者支援者の関係性を重視し、支援者の課題として捉えなおす事で、無限の可能性が開けるとの利用者本位の「めぶきメソッド」を全国に発信しています。

世代交代の時期が迫っていますが、これからは個人のリーダーシップに頼るのではなく、職員一人ひとりを育成し、経営、運営を担う組織体制を構築することで、よりよい支援を創出することが肝要だと考えています。人事考課制度を導入し、幹部会、中堅幹部会などの階層別会議や研修委員会、虐待防止委員会などの課題別委員会を編成し、運営や経営に職員が主体的に責任を持って参画することで、常に成長し続ける組織を目指したいと考えています。利用者、保護者の皆様にめぶき園を選んで良かったと思っていただけるよう、利用者の皆様の豊かな人生と普通の暮らしを実現し、早期療育から看取りまでのライフステージを通した総合的な支援の充実に取り組んでまいりますので今後ともご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

めぶき園新年会

新年明けましておめでとうございます。昨年はインフルエンザ大流行により、残念ながら新年会を実施する事ができませんでしたが、今年は誰ひとり感染することなく無事行うことができました。春日神社では、一年の健康と各々願いが叶うよう参拝して来ました。帰園後は保護者の方も交えた食事会。皆でワイワイ楽しく食事をし、絵馬に目標、願い事を書きました。皆様の願いが叶うよう！又今年も一年健康で色々な行事に取り組んでいきたいと思ひます。



担当 中山 航

♡お誕生日おめでとう♡



6日 柿坂寿治さん 39歳
柿坂さんの笑い声にみんなも楽しくなります



31日 佐藤省吾さん 44歳
お母さんを気遣うやさしい省吾さんです♡

2月の行事

- 16日(火) 課レク
- 17日(水) 誕生会
- 25日(木) バイキング